

境木保育園		29年度	1月指導計画（5歳児）	ぶどう組	園長印	担任印
子どもの様子			ねらい	行事	自己評価	
友だちと一緒にのおたのしみかいをやりきって満足感や達成感を味わっていた。友だちのとのかわりが深まり、友だち同士で生活をを進めることを楽しんだり、あそびの場面ではお互いの思いや考えを出し合いながらルールを決めてあそびを楽しんでいる姿が見られるようになる。園のいろいろな行事にも喜びながら積極的ににかかわり参加している。			・あそびや生活を自分たちで進めていく中で、友だちと相談したり協力したりする。 ・友だちと考えや思いをことばで伝え合う喜びを味わう。 ・自分の目標に向かって繰り返し挑戦し、できた満足感を味わう。 ・冬の自然に興味や関心を持ち、試したり発見を楽しんだりする。	・お正月あそび週間 ・誕生会・身体測定・避難訓練 ・英語・リトミック・スイミング ・年長交流会	年明け、絵馬に自分の目標を書くことにより、自分の目当てを意識して繰り返し挑戦する姿が見られたのでよかった。鬼の面作りでは張りこ技法を楽しみ、形にとらわれずに自分のイメージを表現しながら楽しみむことができ、行事への期待感に繋がった。	
内容			環境構成	保育士の配慮	取り組みの状況と保育士の振り返り	
養護・教育	生命・情緒健康・人間関係・環境・言語・表現	・生活リズムを取り戻し、規則正しい生活リズムが快いと感じる。 ・衣服の調節、手洗い、うがいなど、清潔にしておくことが病気の予防と関係のあることに気づく。 ・お正月あそびを通し、競い合いのあるあそびの面白さに気づき、意欲的にかかわり、楽しく一緒にあそぶ。 ・お正月あそびなどから、数、文字への興味がより深まり、知ることの喜びに気づく。 ・寒さに負けずに、戸外で思い切り体を動かしてあそび楽しさを味わう。 ・友だちとルールを確かめ合いながらあそびを進める。 ・こま回しや縄跳びなど、繰り返し取り組む中で、できた満足感を味わう。 ・友だちと互いに教え合ったり、励まし合ったり、できたことを喜び合ったりする。 ・氷や霜柱の変化に気づき、自分なりに試したり、友だちと一緒に発見を楽しんだりする。 ・思っていることや考えをことばで伝える楽しさを味わう。 ・相手の話に関心を持って聞き、相手の思いや考えを理解しようとする。 ・物語や絵本の世界を楽しみ、想像を豊かに膨らませ、表現することを楽しむ。 ・季節のうたを友だちと一緒に楽しむ。				
	食育	・伝統行事と共にある行事食の意味、からだ食べ物との関係にも興味、関心を抱きながら、友だちと一緒に楽しく食べる。				
			・室温、湿度、換気に留意する。 ・室内の清潔を心掛ける。 ・季節にあった衣服の補充のお願いをしていく。子どもたちも働き掛け、意識できるようにしていく。 ・お正月あそび道具の準備。あそびを楽しむためのスペースを整える。 ・防寒着などの確認。天候や気温、安全面に留意する。 ・子どもたちなりのルールを認め、見守る。 ・繰り返し楽しめる環境を整える。 ・コツを伝えたり、いろいろなあそび方があることを示したりして、一人一人の意欲を引き出していく。 ・友だちの手を借りたり、協力したりできるような機会を作っていく。 ・氷や霜柱などを見て、疑問に感じたことを調べたり、試したりできるようにする。 ・子どもたちが興味を持ったものを繰り返し楽しむようにする。 ・季節にあった歌を選ぶ。	・一人一人の健康状態に留意しながら、心とからだのリズムを取り戻せるよう働きかけ、心地よさを実感できるようにしていく。 ・自らのからだに関心を持ち、清潔にしておくことが病気の予防と関係あることに気づいていくよう導きながら、見守っていく。 ・かるた、すごろく、こまなど競い合いのあるあそびの面白さを伝えられるよう、保育士自身も共にあそぶ。 ・一人一人の子どものレベルに合わせ、生活やあそびのなかから楽しく数や文字への興味が一層広がるように働きかけていく。 ・こま回しや縄跳びなど、あきらめずに挑戦する姿を見守りながら、頑張りや認めたり、できた嬉しさに共感して自信につなげていく。 ・子ども同士で教え合えるようにすることで、友だちに刺激を受けて意欲を持ったり、友だちのよさやその子なりの頑張りや気づいたり、友だちができるようになったことを喜び合えるようにしていく。 ・思いのぶつかり合いが生じたときは、考えを出し合い自分たちで解決しようとする姿を認める。 ・互いに考えを伝え合ったり、折り合いをつけていったりすることで、よりあそびがおもしろくなっていくことを感じられるように、互いの考えを理解できるよう整理したりする。	・年明けから午睡がなくなった。子どもの様子を見たり、家庭での様子を聞きながら無理なく進めていく事ができた。 ・鼻水が出ていてもそのままいる子どもがいる。そのつど声をかけて清潔に心がける。自分でも気づいて始末ができるように声をかけていきたい。 ・年間を通して、朝の人数調べ、カレンダー作りに取り組んできた。数に興味・関心をもち意欲的にかかわり楽しんでいる姿がある。 ・お正月遊びでいろいろなあそび挑戦した。その中で友だちと教え合ったり、繰り返し挑戦して競い合って楽しむ姿があった。 ・散歩に積極的に出掛けて冬の自然に気付けるようにした。霜柱・氷に触れ関心を深めた。また、氷り作りも楽しんだ。 ・お正月や干支・七草の絵本に親しみ、お正月の習慣や自分の干支に興味を持つことができた。	
			地域とのかわり		家庭との連携	
			散歩時の挨拶		・感染症についての情報交換をする。 ・個人面談 ・卒園文集のおねがい。 ・午睡についてのお知らせ。	
			時間外保育			
			一人ひとりがのんびりと好きなあそびに取り組めるような環境を整えていく。			